

総務経済 常任委員会

天狗岩用水(坂東大堰・利根川横断暗渠)を調査

歴史ある「天狗岩用水」を 未来に引き継ぐために

委員長 渡辺 俊彦 委員 原 利幸
副委員長 月田 均 三友美恵子
宇津木治宣
石内 國雄

所管事務調査日：平成31年2月15日



このメンバーで調査しました



せき止めた利根川の川底



利根川の真下を横断する暗渠内

詳しく調査！

委員会 Report

●天狗岩用水について

天狗岩用水は、渋川市にある坂東大堰の利根川左岸側から取水し、利根川の下を横断暗渠により右岸側へ流し、取水口から7・5キロメートル地点までを天狗岩用水と呼びその下流を滝川と呼ぶ。
天狗岩用水は前橋市、高崎市、玉村町の利根川右岸の水田を潤しており、天狗岩用水、坂東大堰は昭和26年に竣工された。
現在、受益面積は938ヘクタール、組合員数1901人である。

●現在の状況

坂東大堰の周辺施設は老朽化が激しく、坂東大堰本体の摩擦や洗掘、横断暗渠内の漏水箇所も多い。老朽化が進むと大規模災害に発展する危険性があり、玉村町を初め2市1町の水田への「かんがい用水」の供給も途絶えてしまふ。
このようなことのないよう、平成24年から早急に補強・補修工事の必要な箇所から対策工事を実施している。

まとめ

天狗岩用水は玉村町の「かんがい用水」として重要な水資源であり、稲作栽培を初め自然水利として必要不可欠である。また、本町の利根川右岸の水田で栽培される稲作に必要な水、全てを供給している大切な用水である。
竣工から60年以上が経過した施設は老朽化が進んでおり、地震やゲリラ豪雨にも耐えられる施設を維持するには多くの改修工事が必要であることから、今後も大切な水を安定供給するために必要な工事が適切に実施されることを希望する。

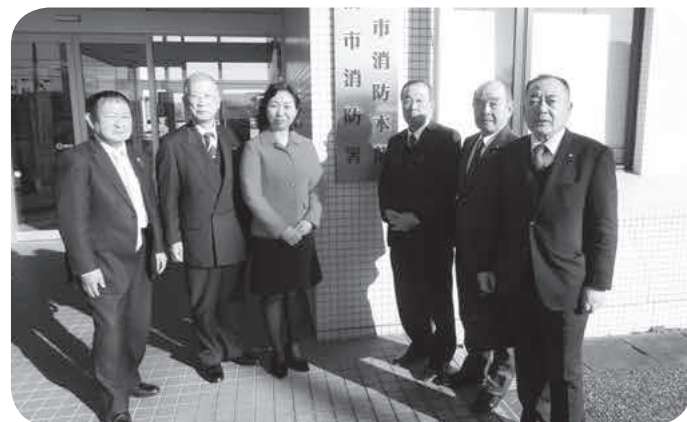
民生文教 常任委員会

鹿沼市消防再編計画を調査

防災力の充実強化を目指した 再編を

委員長 柳 沢 浩一 委員 備前島久仁子
副委員長 新 井 賢次 浅見 武志
石川 眞男

所管事務調査日：平成31年2月12日



このメンバーで調査しました



消防団の再編と充実強化の説明を受ける



地域で支える消防団

●鹿沼市消防団の現状

鹿沼市は面積が470平方キロメートルと広く14の分団がある。各分団には3〜6の部があり、部単位で消防団活動に従事しているが、市の厳しい財政状況により、車庫や車両の更新も遅れており老朽化も進んでいる。
また、少子高齢化やサラリーマン団員の増加などによる団員のなり手不足もあり、消防団充実強化ビジョン及び消防団の再編整備計画を策定することとなった。

●鹿沼市の取り組み

鹿沼市では、団員の処遇改善、女性消防団員の任用や支援団員制度の充実、自主防災組織との連携など消防団の充実強化に向けた施策を実施している。組織の再編については、分団体制は維持しつつ、60ある部を10年間で48としていく。
また、多機能型消防車両の整備などにより消防防災力を維持しながら、施設等の集約を図っていく計画である。

まとめ

消防団員のなり手不足や分団詰め所・消防車両の老朽化等は全国的な課題であり、本町においても同様の課題を抱えている。
現在、本町では消防団再編検討委員会が設置され検討が進められている。防災、防火、安全の確保には大きなコストがかかるが、地域防災の重要な役割を担っている消防団であることから、財政の観点からだけでなく、防災力の充実強化を目指した再編をされたい。

詳しく調査！

委員会 Report